

# 絆

赤井むつみ後援会便り第47号

笑顔あふれる温かい町に！

2020年3月 発行



## コロナ対応議会でした！

3月定例会は3月9日～17日の予定でしたが、コロナ感染リスクを回避するため、一般質問は文書で行い、予算特別委員会もピンポイントで質問を行うなど、全てにおいて時間短縮し13日で終了となりました。（以下、文書で提出した一般質問です）



### 今までの取り組みを検証した人材育成を！

以前、人材育成に向けて「八雲町まちづくり会社（仮称）」設立構想を聞きました。今までもこの構想と同じような目的で『アクションプラン』や『リプモ事業の中の人材確保育成事業』『ら・ふもの展開』等、様々な取り組みがありましたが、それらの成果と課題が私たちには見えていません。今までの取り組みの成果と課題を明確にし、そのことに対し多くの意見をぶつけ合いながら、本当に必要な仕組みを作り上げるべきだと思いますが、町長のお考えをお伺いします。

#### 答弁

アクションプランの成果として、丘の駅の設置による町内への経済効果の波及や事業者の育成などが継続していること。産業人材確保・育成事業に関しては、取り組みを通して産業界の担い手対策に関する意識や具体的な対策の実施に対する理解が深まってきている。これまで取り組んできた丘の駅の立ち上げや運営で培った経験、地域おこし協力隊の育成や事業執行を通じて得られた経験、産業界との議論などから得られた課題や成果と共に、商工会をはじめとする産業界との調整を進め、今後は特に若手経営者などの意見を積極的に聞きながら検討する。



### 適応能力のさらなる向上を！

以前は職場にも余裕があり、時間をかけて新人教育が行われていましたが、今は職場に余裕がなく即戦力が求められています。本来そこを学校教育や社会教育に求めるのはどうかと思いますが、時代が刻々と変化する中で、学校教育や社会教育における人間形成過程においても、さらなる工夫が必要となってきています。時代に適した人材を育てるためにも、学校教育や社会教育において、今後どのように工夫して取り組むべきか教育長のお考えをお伺いします。

#### 答弁

八雲での4年間、一貫としてきた理念は「人格の完成」を目指すことに集約される。学力・学習調査においても単なる知識の習得に陥ることなく、「知育」「徳育」「体育」の適切な指導に基づいた相乗効果による「生きて働く学力」となるよう各学校に徹底するとともに、家庭・地域と連動した取り組みなくしては確かなものにならないと考えている。今後、教育の流行と普遍を見極めつつも、子ども達一人ひとりが自他をかけがえのない存在として自覚し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることが出来るよう、学校教育、社会教育の融合をさらに高めた教育活動を推進していくことが、何よりも重要な事と考えている。

# 2020年度の予算決定！

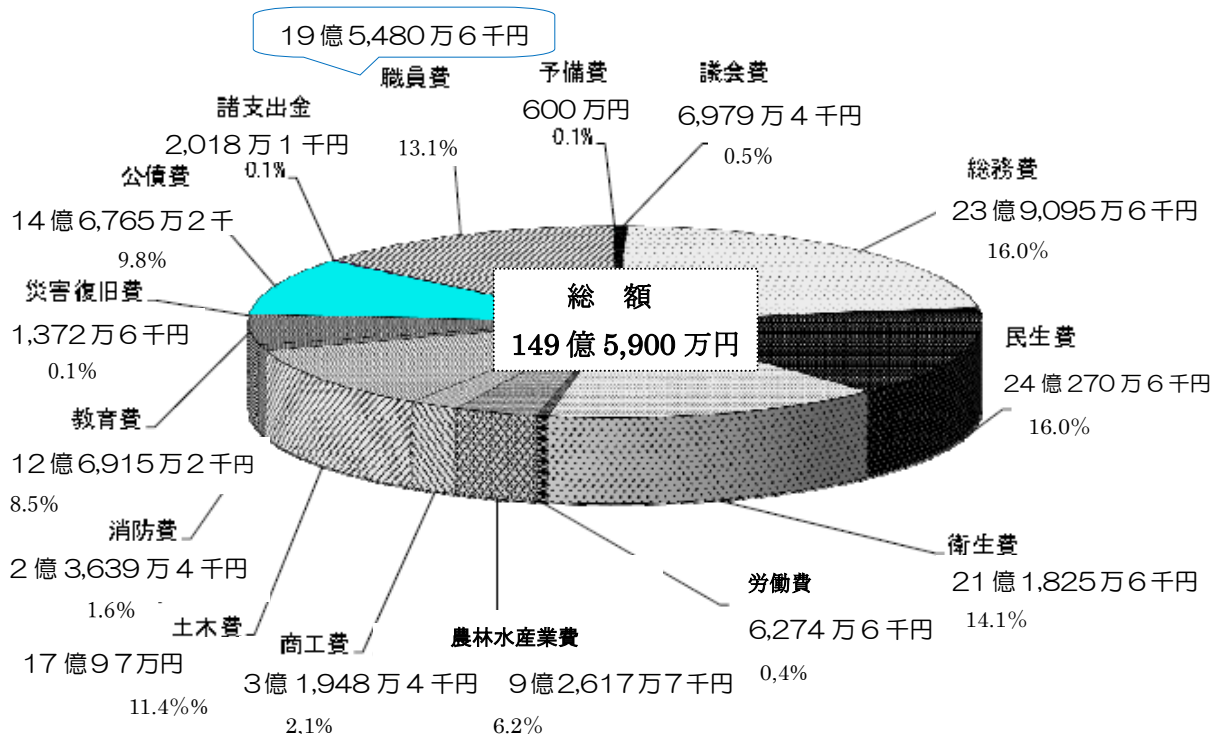
3月の八雲町議会定例会では、予算特別委員会が設置され、2020年度予算について審議し、本会議で下記の通り決定（可決）いたしました。

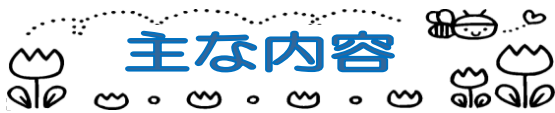
| 項目             | 2020年度予算額      | 2019年度予算額       |
|----------------|----------------|-----------------|
| 一般会計           | 149億 5,900万円   | 140億 3,400万円    |
| 国民健康保険事業特別会計   | 27億 3,753万 8千円 | 27億 6,982万 1千円  |
| 後期高齢者医療特別会計    | 2億 2,835万 3千円  | 2億 2,181万 7千円   |
| 介護保険事業特別会計     | 20億 2,297万 3千円 | 20億 158万 8千円    |
| 熊石地域簡易水道事業特別会計 | 9,122万 9千円     | 1億 6,881万円      |
| 下水道事業特別会計      | 6億 6,401万 8千円  | 12億 4,190万 2千円  |
| 農業集落排水事業特別会計   | 5,716万 9千円     | 4,818万 2千円      |
| 病院事業会計         | 75億 301万 9千円   | 75億 1,023万 3千円  |
| 水道事業会計         | 6億 4,482万 4千円  | 6億 4,122万 9千円   |
| 合計             | 289億 812万 3千円  | 286億 3,758万 2千円 |

- 前年度比 2億 7,054万 1千円 0.9%の増となりました。
- 貯金（基金） 約 78億 4,000万円（2019年度末見込み）約3億6千万円増↑
- 借金（地方債） 約130億 5,200万円（2019年度末見込み）約5億7千万円増↑



## 2020年度 一般会計 支出項目





## 主な内容

町民の安心安全、活力ある町を目指しています。  
町民みなさまが、幸せを実感出来ますように！

### <一般会計の事業の一部と経費>

**総務費：前年度より 4,655 万円増えました（1.6%増）**

地域会館整備事業：1,915 万 1 千円（相沼地区会館新築工事、東部児童館外壁等改修工事他）

工業団地用地購入事業：5,006 万 2 千円（野田生の宅地購入）

**民生費：6,514 万 8 千円減りました（2.4%減）**

福祉タクシー助成事業：736 万 3 千円（助成額が年間 7 千円から 1 万円になりました）

介護従事者確保推進事業：304 万 5 千円（介護人材確保のため、研修開催や受講費用の助成）

**衛生費：1 億 1,554 万 3 千円減りました（4.9%減）**

熊石地域合葬墓整備及び管理事業：418 万 7 千円（熊石地域に合葬墓を建設）

八雲地域ごみ処理関連業務委託料：1 億 8,159 万 7 千円（ごみ処理にかかる経費）

**労働費：481 万 1 千円増えました（7.4%増）**

奨学金償還支援事業：408 万円（人材確保と定着を目的に奨学金償還支援を実施）

勤労センター舗装整備事業：583 万円（駐車場の舗装整備のため指定管理者の八雲地区連合会へ補助）

**農林水産業費：3 億 5,351 万 2 千円増えました（49%増）**

研修牧場整備事業：4 億 4,177 万 9 千円（株式会社青年舎への施設整備費補助 外構工事等）

岡山県有地購入事業：1,000 万円（町営育成牧場用地として購入）

（仮称）八雲食肉センター設立事業：1,500 万円（日本フードパッカーKK との共同出資で設立）

八雲地域・熊石地域サーモン養殖事業：1,113 万 1 千円（トラウトサーモン海中養殖へ補助）

**商工費：1,537 万 8 千円減りました（4.1%減）**

消費喚起プレミアム商品券発行事業：3,340 万円（プレミアム額 20%分。事業主体は八雲商工会）

平田内泉源管理事業：2,637 万 5 千円（点検・修理・ケーブル取り換え、送湯管洗浄委託料）

**土木費：9,424 万 9 千円増えました（5.4%増）**

真萩ポンプ場長寿命化計画事業：1,402 万 3 千円（ストックマネジメント計画策定）

立岩公園改修事業：530 万 3 千円（駐車場舗装、散策道補修）

**消防費：546 万 7 千円増えました（0.8%増）**

消防自動車整備事業：8,361 万 4 千円（落部ポンプ車、熊石大型水槽車 各 1 台更新）

消防庁舎整備改修事業：2,604 万 8 千円（ドクターヘリ離発着場兼訓練場整備事業）

**教育費：5 億 7,806 万 1 千円増えました（64.9%増）**

旧相沼小学校校舎解体事業：8,375 万 4 千円（解体工事実施設計・解体工事費）

熊石歴史記念館屋上防水外壁改修事業：4,048 万円（屋上防水外壁改修工事）

**災害復旧費：24 万 5 千円増えました（1.8%増）**

**公債費：3,475 万 8 千円増えました（12.1%増）**（これは、借金の返済にかかるお金です）

ここでは支出のみを掲載しましたが、収入では地方交付税はもちろん町税も減っているので、ふるさと応援寄付金で何とか維持できているという状況です。しかし、ふるさと応援寄付金もいつまでも頼りになるものではありませんから、収入減少に応じた支出も考えなければなりません。

研修牧場、落部小学校改築、給食センター、相沼会館建設、庁舎建設等々が続きますが、その返済も同時期に始まっていきます。今の子ども達に負担を残さないよう、少ない予算で大きな成果が出るように、町民みんなで知恵を絞ることが必要になってきています。



# 議会報告会を行いました！



2月12日、はぴあ八雲・落部支所・熊石ふれあい交流館で、議会報告会を行いました。テーマは『議員報酬と定数』です。「消費税も上がって大変な時に、こんなに一気に上げるのか？」「時給だといくらになる？」等々の意見をいただきました。しかし、今回の金額の算定根拠を示し、今後若い人たちも出やすい環境を作るためにも、報酬を上げることもお伝えし、おおむね賛同をいただきました。中には、「報酬を上げて、その分しっかりと働いてもらう」「社長や会長ばかりでなく、誰でも出られるように、報酬は上げるべき」との意見もいただきました。もちろん、議員報酬のすべては税金ですから、高い安いに関わらず、町民皆さまに伝わるようにしっかりと働かなくては！と改めて気が引き締まりました。自分では、会報をはじめ、議会広報やホームページ、報告会、取材等で議会の動きをお伝えしているつもりですが、まだまだ「議会は何をやっているかわからない」というご意見も多いので、更に皆さまに伝わる方法を工夫しながら取り組んでいきますので、これからもたくさんのご意見をよろしくお願い致します。

議会報告会にご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



2月から世界中が『新型コロナウイルス』の恐怖に包まれ、学校は一斉休校、イベントや会議は中止、外出も自粛など、人の動きが止まってしまいました。そのため、飲食店やタクシー業界は売り上げが激減し、人員解雇される職場も出てきています。卒業式も保護者や来賓は入られず、ネット配信で見ることに。命と健康にかかわる問題なので、少しでもリスクを下げる取り組みは必要だと思いますが、ここまで大ごとになるとは。相変わらずマスクと手指消毒液はどこも売り切れで、手に入りませんし、PCR検査も、最近やっと受けやすい環境になって来たとのこと。

医療関係者皆さまの努力のたまもので、やっと新型コロナウイルス対策も見えつつあり、拡大は収まってはいないものの、緊急事態宣言は解除されるようです。今回の対応を通じて、見えないという恐怖もありますが、人の動きを止めるときは、それなりの根拠を示さなければ、ただ恐怖心だけをあおっては、失うものが多すぎると思いました。卒業・転勤・退職・進学のこの時期に、外出禁止や集まり禁止では、卒業のお祝いも、送別会も、お別れ会も何もできないまま、お別れする人がたくさんいると思います。本当に仕方がなかったのか、別な方法はなかったのか等々しっかりと検証して、今後このようなことがあった場合に、大いに生かしていくべきだと思っています。

何はともあれ、今のところ八雲町では心配されていた感染拡大もなく、皆さまがお元気に過ごされていることに何より感謝です。4月からは平常通りの動きになるといいですね！



子ども達はもちろん、働く方たちとその職場にとっても、健康は何より大事です。今年も各種ガン検診が予定されています。本人はもちろんですが、職場でも『胃がん・大腸がん検診に行った？』『検診のクーポンをもらったら、必ず行って！』等々、職場で背中を押してくれると、従業員の皆さんも受けやすいと思いますので、是非、みんなで声を掛け合いましょう！

自分も職場の仲間も隣近所も、みんなで健康を目指して行きたいですね！

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

携帯電話=080-5588-2090 (赤井)

赤井自宅 栄町56-12 (3区) 63-2090 (FAX 兼)

メールアドレス [yuurappu@kta.biglobe.ne.jp](mailto:yuurappu@kta.biglobe.ne.jp) HPは『赤井むつみ』で検索を！

